

小山市事務事業評価シート

令和元年度版

No. 25

1. 基本情報			
<1> 事業・業務名	地域活動支援センター運営事業		<2> 事業・業務の別
<3> 選定基準	④ その他		事業
<5> 総合計画基本計画での体系	大項目	10 みんなの「絆」を大切に安全・安心で健康なくらしづくり	<4> 継続評価 新規評価の別
	中項目	10-3 とともに支え合うあたたかい福祉環境	新規評価
	小項目	10-3-2 障がい者福祉	<6> 担当部(局)
	施策	地域生活の場の確保	保健福祉部
<9> 根拠法令・計画等	障害者総合支援法	<10> 関連・類似事業	
<11> 会計	一般 会計	<12> 予算科目	3 款 1 項 9 目
<13> 実施期間	年度 ~ 年度	<14> 全体事業費	千円
<15> 実施手法	全部委託	「その他」の場合 ()	

3. Check - 評価 -			
実績評価	妥当性	<24> 事務事業を実施する目的や対象は妥当か?	1.妥当である
		<25> 事務事業を実施する手段や実施手法は妥当か?	1.妥当である
		<26> 事務事業の実施に対する市民ニーズはあるか?	2.変わらずにある
	有効性	<27> 今後も市が実施する事務事業として妥当か?	1.妥当である
		<28> 事務事業の成果の向上の余地はあるか?	2.向上の余地はない
	効率性	<29> (総合計画基本計画)施策への貢献度は大きいのか?	4.該当しない
<30> 事務事業の効率の向上の余地はあるか?		2.向上の余地はない	
公平性	<31> 民間への外部化(民営化・業務委託等)は可能か?	4.実施済み	
	<32> 受益者負担の水準は妥当だと考えられるか?	1.妥当である	
<33> 総合評価 (事業全体の改善の余地)	3.改善の余地はない	理由	本事業は、障害者総合支援法に規定する地域生活支援事業の必須事業として実施しており、引き続き実施する必要があると考える。働くことが困難な障がい者の創作活動又は生産活動の場、社会との交流促進など多様な活動の場を設ける地域活動支援センター事業を行うことにより、通所する障がい者の地域生活支援が図られている。

2. Do - 実施 -

<16> 事業・業務の概要	障害者総合支援法に基づき、障害によって働くことの困難な障害者の日中の活動の場の提供及び社会との交流の促進を図る。									
目的	<17> 事業・業務の目的	障がいのある人の創作活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進を図る。								
	<18> 事業・業務の対象	障がい福祉サービスの対象者に準ずる。								
手段	<19> 平成30年度の活動内容	地域活動支援センター事業の委託(Ⅱ型:医療法人朝日会、Ⅲ型:NPO法人小山そよかぜ、NPO法人小山こずもす園)※障害者総合支援法において、地域生活支援事業の必須事業として位置づけられている。レクリエーション、絵画、工作等の創作活動や、近隣の企業から請け負う各種の組み立て等の生産活動、社会生活の適応を高めるための地域との交流を行う。								
	<20> 活動指標 (活動した量や実績)	指標名	単位	平成29年度		平成30年度				
	委託事業所数	箇所	3	3	3	3	達成率(%)			
成果	<21> 事業・業務の成果	障がい者の社会参加を促進し、日常生活の充実を図ることにより、障がい者福祉の増進が図られた。								
	<22> 成果指標 (活動の成果の量や実績)	指標名	単位	平成29年度		平成30年度				
	サービス利用延人数	人	500	546	500	540	108.0%			
資源	<23> 投入指標 (投入するお金の量)	コスト実績	単位	平成29年度		平成30年度				
			千円	30,598	30,598	30,573	30,573	投入率(%)		
		事業費等	千円	27,000	27,000	27,000	27,000	100.0%		
			財源内訳	国・県補助金	千円	7,125	7,125	7,125	7,125	100.0%
				地方債	千円					
				その他	千円					
		一般財源	千円	19,875	19,875	19,875	19,875	100.0%		
人件費	千円	3,598	3,598	3,573	3,573	100.0%				
正職員	千円 × 人役	7,195 × 0.5	7,195 × 0.5	7,146 × 0.5	7,146 × 0.5					
他の職員	千円 × 人役	×	×	×	×					

事業の改善	<34> 事業の課題 事業の改善点 今後の方針	一般就労や福祉的就労に至らない障がい者の日中活動に重要な事業であるため、今後も、継続して事業を実施する。		
	<35> 1次評価	所属長	3.現状維持	理由 創作活動又は生産活動の場、社会との交流促進など多様な活動の場を設ける地域活動支援センター事業を行うことにより、通所する障がい者の地域生活支援が図られている。
	<36> 2次評価	所管部長	3.現状維持	理由 一般就労や福祉的就労に至らない障がい者の社会参加の促進を図るとい点から、成果を挙げていると考える。

5 Plan - 計画 -

<37> 実施計画	これまでどおり、働くことが困難な障がい者が、地域活動支援センターへ通所することにより、創作活動や生産活動、社会との交流を図る機会を提供するため、継続して事業を実施する。				
<38> 活動・成果目標	地域活動支援センターへの通所により、創作活動・生産活動等の機会の提供や社会との交流を図ることで、障がい者の社会参加を促進し、日常生活の充実を図ることにより、障がい者福を増進する。	<39> コスト計画	単位	令和元年度	令和2年度
		千円	計画	計画	
		事業費等	千円	30,573	30,573
		人件費	千円	27,000	27,000
		千円	3,573	3,573	